



福県医発第1618号(総)
平成18年12月1日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義



「広域電力線搬送通信機器による医療機器への影響に関する
型式指定申請者に対する指導について(依頼)」の送付に関して

標記の件につきまして、日本医師会より別紙のとおり通知がありましたので、
お知らせいたします。

本件は、厚生労働省医薬食品局安全対策課より総務省総合通信基盤局電波部
電波環境課あて下記概要のとおり通知され、日本医師会に周知方の依頼がなさ
れたものであります。

つきましては、本件についてご了解いただくとともに、貴会会員への周知方
につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

1. PLC機器により医療機器への影響が完全には否定できない。このため、
医療機関や自宅でこれらを併用する場合の安全上の対策について、取扱説明
書等によって購入者に周知することをメーカーに徹底させる。
2. 購入者から併用時の医療機器の誤作動等の報告がメーカー等に寄せられた
場合、速やかに厚生労働省に報告をする。

小郡三井医師会より

担当理事 島田昇二郎



(医安 33 号)

平成 18 年 11 月 14 日

都道府県医師会
医療安全担当理事 殿

日本医師会常任理事
木下 勝之

「広域電力線搬送通信機器による医療機器への影響に関する
型式指定申請者に対する指導について（依頼）」の送付に関して

今般、別添のとおり、厚生労働省医薬食品局安全対策課より総務省総合通信基盤局電
波部電波環境課あて通知した旨、本会に連絡がありましたのでお知らせいたします。

今回の通知の概要は下記のとおりですので、貴会管下会員へのご周知方よろしくお願い
致します。

なお、本件で採り上げております広域電力線搬送通信機器（以下「PLC 機器」という。）
とは、現在インターネット等に通信回線として使用されている電話回線（ADSL）や光ケ
ーブル等とは異なり、電力線を通信回線として利用する技術のことを言います。

記

1. PLC 機器による医療機器への影響が完全には否定できない。このため、医療
機関や自宅でこれらを併用する場合の安全上の対策について、取扱説明書等に
よって購入者に周知することをメーカーに徹底させる。
2. 購入者から併用時の医療機器の誤作動等の報告がメーカー等に寄せられた
場合、速やかに厚生労働省に報告をする。

以上

ご参考までに PLC 機器に関する説明の書かれたカラーコピーを同封いたします。
また、下記サイトにも PLC についての説明がありますのでご参考になれば幸い
です。

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20060214/229269/>

事 務 連 絡

平成 18 年 11 月 9 日

社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省医薬食品局安全対策課

広帯域電力線搬送通信機器による医療機器への影響に関する
型式指定申請者に対する指導について

標記について、別添のとおり総務省総合通信基盤局電波部電波環境課長あてに通知したのでお知らせするとともに、貴会傘下の会員に対して御周知方よろしく願います。



薬食安発第 1109001 号

平成 18 年 11 月 9 日

総務省総合通信基盤局電波部電波環境課長 殿

厚生労働省医薬食品局安全対策課長



広帯域電力線搬送通信機器による医療機器への影響に関する
型式指定申請者に対する指導について（依頼）

広帯域電力線搬送通信機器（以下「PLC 機器」という。）については、「電波法施行規則の一部を改正する省令」（平成 18 年総務省令第 119 号）等の公布及び施行により、総務大臣が新たに 2MHz から 30MHz までの周波数を利用した電力線搬送通信設備の指定区分を設けたことに伴い、今後、型式指定申請者からの申請に基づき型式指定がなされる見込みであると聞いています。

PLC 機器の運用に伴う医療機器（外部電源医療機器に限る。以下同じ。）への影響については、現在、完全には否定できない現状にあることから、PLC 機器の型式の指定に当たっては、PLC 機器が医療機関や居宅等において医療機器と併用されること等により、万が一にも医療機器を使用する患者等に対して何らかの健康被害等を発生させることのないよう、下記の事項につき型式指定申請者に対する協力要請方お願いしたい。

記

- 1 PLC 機器による医療機器への影響が完全には否定できず、医療機器によっては誤作動を生じさせるおそれがあること、医療機関及び居宅等の環境下において PLC 機器と医療機器を併用する場合には安全対策上の措置を講ずるべきことについて、取扱説明書等の媒体を用いて PLC 機器の購入者等に対し周知されるようにすること。
- 2 購入者等から PLC 機器と医療機器の併用時における医療機器の誤作動に関する情報を得た場合には、速やかに厚生労働省に報告されるようにすること。

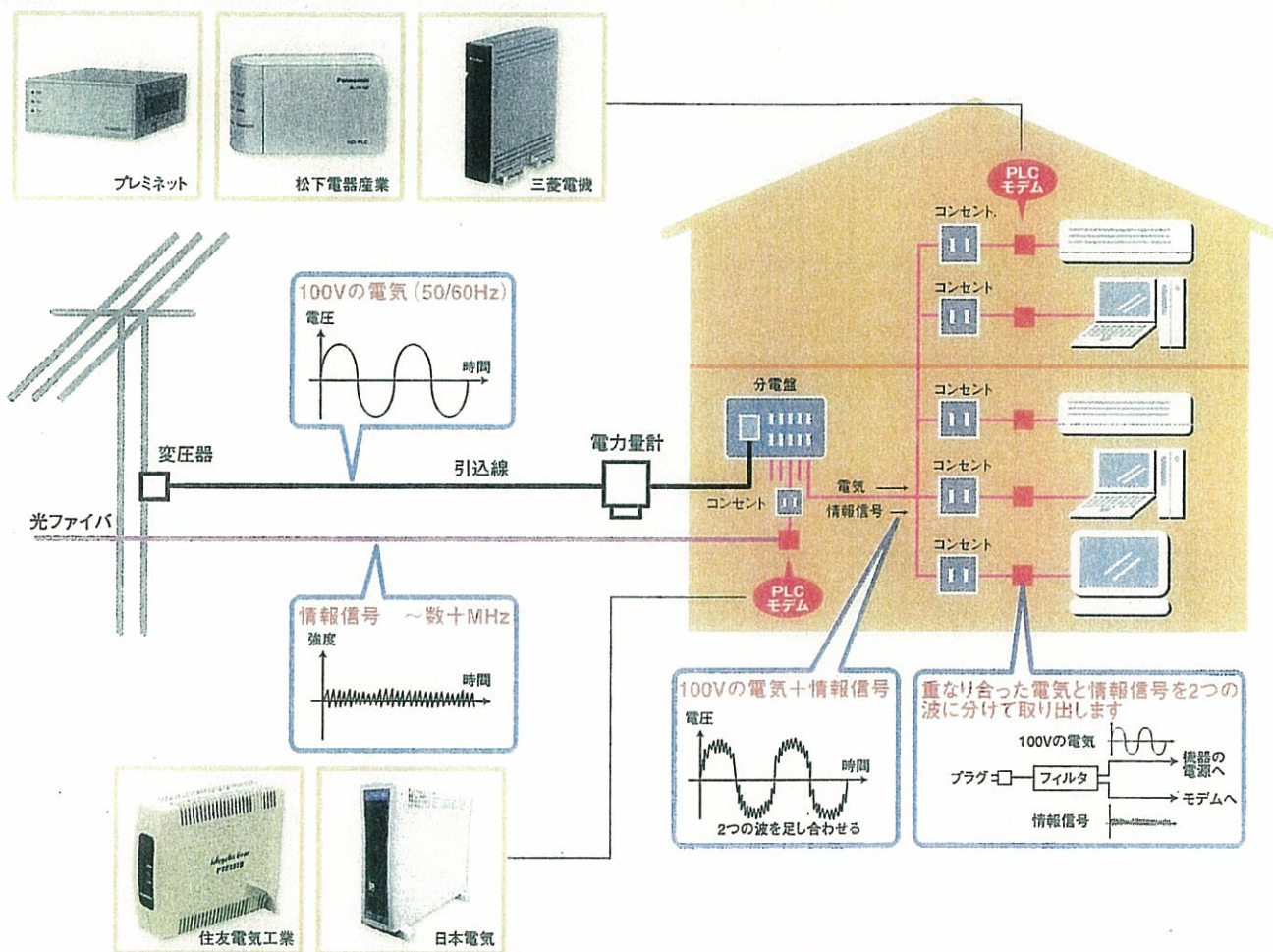
どこにでもあるコンセントを起点とした新しい情報伝達のカタチ

21世紀の本格的情報化社会を迎え、情報通信技術は驚くべきスピードで進化しています。

そんないま、人間の飽くなき探究心が、またひとつ新たな技術を生み出しました。

電力線通信 (PLC=Power Line Communication) と呼ばれるそれは、電力線を使って、大量の情報を送る技術のこと。まさに次世代ブロードバンドネットワークの登場です。

● 電力線通信 (PLC) の原理



PLCとは・・・?

私たちの暮らしに無くてはならない電気。そして、その電気を届ける道“電力線”は、従来は電気を送るだけのものでした。その電力線を、双方向の情報伝送路として使う技術がPLC。

これなら、家庭でもオフィスでも、コンセントさえあればどこでも情報のやりとりができるのです。

このPLCは、欧米などではすでに実用化され、電力線を使って映像や音声などの情報が配信されています。

PLCのメリットは？

PLCは、情報の配信に電力線を使います。つまり、電気の配線をそのまま使えるので、新規通信線工事が不要、極めて経済的です。さらに、プラグを差し込むだけで通信が可能になるので、たとえば家中のどこでもホームネットワークが簡単にできることになります。つまり情報通信の可能性、そして、情報家電を利用する生活が大きく広がっていくといえます。

情報信号の出し入れは？

電気と情報信号の両方を1本の電力線で送るPLCにおいては、両者を重ねたり分けたりする技術が必要です。

その役割を担うのが「PLCモデム」。幹線系ネットワークからの情報の引き込み、及びコンセントからの情報の引き出しに欠かせない存在です。

PLCが普及すれば、PLCモデムは情報端末や情報家電に内蔵されるようになるでしょう。